

第5章

基本方針と施策の展開

1 基本方針と施策

（１）基本方針１（秋田の縄文遺跡群を受け継ぐ）の施策

秋田の縄文遺跡群を受け継いでいくためには、行政、地域住民、関連団体等が連携して遺跡の保存・整備等を推進することに加え、地域の人々が子どもの頃から遺跡に親しみ、その価値や魅力を理解することによって、遺跡に誇りと愛着をもって大切に守り抜いていく気運の醸成と保存の担い手を育成していくことが重要です。また、遺跡からの眺望をより縄文時代の雰囲気近づけることを念頭に、遺跡と調和した景観づくりを進めることが望まれます。

こうした取組は、秋田の縄文遺跡群においてこれまでも実施してきているところですが、裾野を広げ、遺跡の保護と景観の保全を一層深めるため、次の施策を実施していく必要があります。

- 施策（１） 保存・整備の推進
- 施策（２） 価値や魅力の伝達
- 施策（３） 世界遺産を通した文化財保護意識の醸成
- 施策（４） 遺跡と周辺の良い景観の形成

（２）基本方針２（秋田の縄文遺跡群でつながる）の施策

秋田の縄文遺跡群でのつながりを多くつくるためには、受入体制を強化し、様々な事業を展開することで、遺跡への来訪者を増やし、来訪者の満足度を高めていくことが重要です。

秋田の縄文遺跡群においては、遺跡の環境や様々な活用事業の枠組みを整えてきており、今後は来訪者の多様なニーズを把握し、各事業に反映させる中で、来訪者の満足度を一層高めていくために、次の施策を実施していく必要があります。

- 施策（１） 市民参画によるガイド等団体の育成・拡充
- 施策（２） 遺跡へのアクセスや周辺環境整備の推進
- 施策（３） 魅力的な活用事業の展開

（３）基本方針３（秋田の縄文遺跡群から広がる）の施策

秋田の縄文遺跡群から人のつながりを広げるためには、国内外の様々な人々へ積極的に情報を発信することにより、秋田の縄文遺跡群の価値を理解し来訪する者を増やすとともに、関連するコンテンツの魅力と認知度を高め、二次的な情報発信につなげることが重要です。

秋田の縄文遺跡群の情報発信については、これまでの取組を踏まえた上で、縄文遺跡群世界遺産本部や協議会、秋田県縄文遺跡群保存活用連絡会議の枠組みを生かしつつ、新たなネットワークの形成及び適切な媒体の活用を進め、様々な人々に秋田の縄文遺跡群の魅力が伝わ

るようにするために、次の施策を実施していく必要があります。

- 施策（１） 様々な情報発信の拡充
- 施策（２） 官民が連携した誘客の促進
- 施策（３） 遺跡の多様な活用

２ 施策の展開と実施時期

未来像の実現に向けた基本方針に基づく各施策の展開に当たっては、様々な取組が求められますので、次にその取組と具体例を示します。

また、県、市、地域住民、民間団体等の取組には、令和３年の世界遺産登録以前から進められ今後も継続して実施していく継続的取組、世界遺産登録後に重点的に実施する短期的取組があり、さらに将来的に具体的に着手していく中長期的取組があります。（P.33 別表参照）

（１）基本方針１（秋田の縄文遺跡群を受け継ぐ）の施策に係る取組

施策（１） 保存・整備の推進

①縄文遺跡群の一体的な保存管理と公開活用

- ・縄文遺跡群の保全状況に関するモニタリングのユネスコへの年次報告
- ・17 遺跡共通デザインの説明看板の設置
- ・17 遺跡共通のパンフレットやガイドマップ等の配布、HPの運用
- ・縄文遺跡群の写真パネルや出土品などの巡回展示会 等

②各遺跡の計画に基づく適切な保存管理

- ・環状列石の保存処理や監視体制の充実
- ・遺跡の見学環境を維持するために行う草刈り等の日常管理
- ・見学通路、説明版、復元した縄文時代の建物等の維持管理
- ・ツキノワグマ等の鳥獣害や感染症への対策 等



草刈りの様子（大湯環状列石）



養生の様子（伊勢堂岱遺跡）

施策（２） 価値や魅力の伝達

①調査研究成果の公開活用の充実及び両遺跡の連携

- ・遺跡や出土品の研究課題の解決に向けた調査計画の作成と調査研究の推進
- ・発掘調査見学会の開催や専門家を招いた講演会、フォーラム、学習会の両市での共同開催
- ・ガイダンス施設での企画展示会やギャラリートークによる遺跡の新たな魅力の伝達



縄文館講座の様子（伊勢堂岱遺跡）

- ・遺跡での取組情報、遺跡や出土品等の映像資料の発信 等

②遺跡及びガイダンス施設の整備

- ・遺跡が営まれた当時をイメージするための遺構復元
- ・バリアフリーに配慮した遺跡やガイダンス施設の見学通路等の整備
- ・遺跡情報を伝えるサイン、web 情報、音声ガイドツールの多言語対応 等

施策（３） 世界遺産を通した文化財保護意識の醸成

①学校教育や生涯学習と連携した普及啓発

- ・児童生徒の秋田の縄文遺跡群への興味関心を高めるための学習資料等の配布
- ・秋田の縄文遺跡群の価値を伝える出前講座の実施
- ・地域学習や学校行事での遺跡の活用
- ・秋田の縄文遺跡群を素材にした制作物の展示会の開催 等

②地域住民等の保全活動等による保護意識の醸成

- ・遺跡と周辺を含めた除草や清掃活動による遺跡への愛護意識の醸成 等



縄文学習資料

施策（４） 遺跡と周辺の良い景観の形成

①景観計画の策定と適切な運用

- ・遺跡を所管する自治体による景観計画の策定と開発行為の早期把握と遺跡の景観に配慮した誘導

②世界遺産委員会勧告への対応

- ・遺産影響評価に基づいた遺跡内の道路移設

- ・植栽等により隣接する高速道路等の遮蔽措置の実施
- ③遺跡や周辺部の自然環境と調和したまちの景観づくり
 - ・景観条例に則った色や素材を意識した建物や構造物の建設や改修

（２）基本方針２（秋田の縄文遺跡群でつながる）の施策に係る取組

施策（１） 市民参画によるガイド等団体の育成・拡充

①地域ボランティア団体の充実及び後継者の育成

- ・ガイドやジュニアボランティアガイドの募集と育成
- ・様々な形で遺跡を活用できる団体の設立
- ・各団体の取組の web 等での映像公開とフィードバックによる活動の拡充 等



ガイドツアーの様子（大湯環状列石）

②ガイドの育成と提供する情報のガイドライン策定

- ・来訪者の知識量に応じて対応できる質の高いガイドマニュアルの作成
- ・定期的な研修会によるガイド内容の向上
- ・ホスピタリティの向上に向けた研修の実施 等



ジュニアボランティアガイドの様子（伊勢堂岱遺跡）

③多様な情報提供に向けた団体間の交流や連携の促進

- ・合同研修会による相互理解と秋田の縄文遺跡群としての情報共有
- ・世界遺産子どもサミットの開催による他地域との意見交換と情報共有
- ・武家屋敷群等、他分野のガイド団体との連携によるガイド内容の拡充 等

施策（２） 遺跡へのアクセスや周辺環境整備の推進

①遺跡へのアクセス環境の充実

- ・ 空港・鉄道・バス・タクシーの利用促進と二次交通アクセスの整備
- ・ 17 遺跡共通デザインによる道路標識等の分かり易い案内表示の整備 等

②アクセス情報の発信強化

- ・ イベント等の情報発信時の遺跡アクセス情報付加の徹底及び多言語対応
- ・ 地元自治体や民間団体、地元企業の情報発信時におけるアクセス情報発信の促進 等

③駐車場及び便益施設の充実と周辺施設の整備

- ・ 来訪者の増加に合わせた駐車場の過不足確認と計画的な整備
- ・ 来訪者のニーズや滞在時間増に合わせた飲食や物販コーナーの新設
- ・ 世界遺産縄文遺跡群の最寄り駅として縄文の雰囲気配慮した駅舎等の改修 等

施策（３） 魅力的な活用事業の展開

①縄文文化を体感できる取組の充実

- ・ 縄文の衣装・食事・道具づくりや、まつり等の体験メニューの開発
- ・ 縄文文化に関する多方面と連携したワークショップの開催
- ・ 遺跡を縄文の里山の例とした自然観察会の開催 等

②遺跡の特別な公開活用

- ・ 夏至前後のストーンサークルのライトアップと星空観察会
- ・ 普段立ち入れない遺跡の範囲やバックヤードへの特別ツアー 等

（３）基本方針３（秋田の縄文遺跡群から広がる）の施策に係る取組

施策（１） 様々な情報発信の拡充

①国内外の広範囲への発信とサポーターの獲得

- ・ SNS やHP による動画や画像、映像資料を生かしたPR の推進
- ・ 国内外の遺跡や世界遺産との連携による相互情報発信
- ・ 秋田の縄文遺跡群を応援するファンクラブの設置と耳寄り情報の発信 等

②多様な客層への発信とファンやリピーターの獲得

- ・ 遺物をモチーフとした来訪者を惹き付けるキャラクターの創出
- ・ SNS で発信したくなる映えスポットの創出
- ・ 現代美術とのコラボレーションによる展示企画の展開

- ・年代別（児童、子育て世代、熟年等）、趣味別（歴史・文化・食・体験等）、目的別（観光、癒やし、運動等）など、ターゲットを絞った情報提供 等

施策（２） 官民が連携した誘客の促進

①遺跡でのイベント開催や参加型プログラムの充実等による積極的活用の推進

- ・遺跡群を会場とした伝統行事の開催・披露
- ・来訪者が参加できる茶会、星空観察会、ヨガ教室等のイベント開催



大鹿魂祭の様子（大湯環状列石）

②魅力ある周遊モデルコースや旅行商品の造成と誘客推進

- ・観光地・宿泊施設・飲食店等との連携による周遊モデルコースの造成
- ・誘客を重点的に促進する地域をターゲットとしたファームツアーの実施
- ・白神山地や縄文の歴史を学ぶ学習旅行・修学旅行のPRと誘致活動の推進
- ・他の縄文遺跡群、観光地と連携したスタンプラリーの実施
- ・観光キャンペーンと連携したイベントや企画展等の実施 等



カムバック縄文サーモンの様子（伊勢堂岱遺跡）

③来訪者の需要調査や成功事例等の情報収集

- ・来訪者を対象とした満足度、改善点、新たな取組等のアンケート調査実施
- ・世界遺産関係自治体との情報交換による成功事例収集と取組への反映 等

施策（３） 遺跡の多様な活用

①世界遺産のブランド力や地域の特色を生かした関連商品開発と仕事の創出

- ・お菓子や酒類、衣類、雑貨などの土産品の開発
- ・縄文遺跡群をテーマとした食事メニューの開発と提供体制の整備
- ・有料ガイドの育成と受入体制の充実強化 等

②秋田の縄文遺跡群を活用した地域経済への貢献

- ・悠久の空間で行う屋外コンサートやアートイベントの実施
- ・雪像の製作など冬季における遺跡の魅力を向上させる企画の実施
- ・民間企業やNPO団体と連携した気球搭乗会、結婚式等の実施 等